

神栖市内のピーマン生産者を対象にピーマンのウイルス病対策講習会を開催しました。

令和5年8月21日から9月5日にかけて、神栖市の4つの任意組織に対し延べ5回、ピーマンのウイルス病まん延防止を目的とした講習会を開催し、約70名が出席しました。講習会では、普及センターから、近年、産地で発生が増加しているピーマンのウイルスによる重要病害「モザイク病」と「黄化えそ病」の基礎知識や防除対策について、説明しました。

内容は、①ウイルス病の初期診断の相談体制について、②ウイルス病の基礎知識と防除対策、③アザミウマのまん延防止を目的としたピーマン残渣の適正処理等についてです。

出席者からは、モザイク病がハサミより手での管理作業で感染が拡大することに対する質問や、天敵昆虫の導入による黄化えそ病媒介昆虫アザミウマの密度抑制についてなど質問が多くあり、ウイルス病対策に対する関心の高さがうかがえました。

普及センターでは引き続き、ピーマンの高品質安定生産につながる病害対策技術の普及を通して、ピーマン生産者の所得向上を支援していきます。

銚田普及センター（成長産業）

